



Care Service Co., Ltd.



P1~4

トップメッセージ

- 2024年3月期の振り返り
- 長期戦略実現に向けて
- 当社の強み、特長について
- 2025年3月期の基本方針

株主・投資家の皆様へ 2023.4.1 ▶ 2024.3.31

ケアサービス 便り



P5~6

多角的なサービスでご高齢のお客様とご家族を支えるケアサービス

P7~8 「多角的なサービスでご高齢のお客様とご家族を支えるケアサービス」の裏側

P9 財務情報

P10 会社概要



証券コード：2425

トップメッセージ



代表取締役社長
福原 俊晴

Q1 2024年3月期の振り返りを
お願いいたします

関連
▶9ページ

当期は、当社グループの各サービスにおいて、年間を通じて堅調に推移いたしました。

在宅介護サービス事業では、介護サービスを受けられるお客様とご家族様の需要が再び高まり、売上とサービス件数は、新型コロナウイルス発生前の水準に完全に回復いたしました。同様に、シニア向け総合サービス事業でも、引き続きお客様の強いご要望を受け、売上、サービス件数とも順調に増加しております。

また、社会では物価上昇が続いておりますが、当社では当期においても経費や組織・業務の見直し、DXの推進による本社組織の効率化等のコスト削減を進めてまいりました。

一方で、当社グループの中長期的な成長に向けて、

2033年3月期までの長期の戦略・投資イメージ

	稼ぐ力をつける ~2024/3	大きく投資する ~2027/3	シニア向け総合サービス業への進化 ~2033/3
テーマ	組織力・事業の再構築	絶対的な業界ポジション確立	新しい事業形態への進化
戦略・投資ポイント	<ol style="list-style-type: none"> 競争を勝ち切るビジネスモデル構築 フリーキャッシュフロー最大化に向けた財務体質強化 将来の成長に向けた従業員への投資・還元 	<ol style="list-style-type: none"> 「規模×効率性」ドミナント活用によるビジネスモデル構築 介護報酬改定を見据えた既存事業の再定義と積極的拡大 <ul style="list-style-type: none"> 既存事業の顧客基盤を活かした新規事業開発 海外展開 業務提携、M&A等 	<ol style="list-style-type: none"> 介護保険外事業への発展と既存事業との連携 <ul style="list-style-type: none"> 看護、医療、調剤との連携、融合 葬祭周辺業務多角化 海外事業拡大（東アジア圏、その他）

計画どおり完了

の「稼ぐ力をつける」と位置付け、いわば土台造りとなる組織力と事業の再構築を進めておりました。各事業の収益力の向上とともに、中長期的な成長の源泉となる従業員への投資・還元を行いながら、その他の経費に関しては、引き続き徹底的に見直しを図り、コストを削減することで財務体質を強化してまいりました。

2025年3月期からの3年間は、次の「大きく投資する」第2段階に移行いたします。当社グループの事業所の**商圏エリアと顧客基盤を活用し、既存サービスの生産性と効率性を高めて、さらなる事業拡大をしていくこと**。加えて、そのエリアのお客様の暮らしや人生を支えるための介護保険外の新規サービスを開発し、新たな事業の柱としたいと考えております。

第2段階の「大きく投資する」上で追い求めたいテーマが『絶対的な業界ポジションの確立』です。もちろん売上や規模も大切にしますが、それ以上に、当社グループが**“業界内で唯一無二のビジネスモデルと利益率を生み出す存在”へと進化していきたい**と考えています。

Q3 当社の強み、特長について教えてください

関連 ▶5～6ページ

当社グループが『シニア向け総合サービス業』というコンセプトを提示することができるのも、ケアサービスの創業からの想いや事業背景が深く関連しているのかもしれない。

● 沿革



1970年に寝たきり高齢者の布団の消毒乾燥サービスから創業した当社グループは、お客様のニーズに応じてサービスを拡充してまいりました。▶3ページ沿革

介護保険法が施行される以前の1990年には、「最期の介護」であるエンゼルケア事業を立ち上げ、当社グループはお客様に生前から天国に旅立つ瞬間まで寄り添うことを使命としました。

今では『終活』という言葉ができるなど、生前から自分や家族の死について話し合うことも徐々に当たり前の光景になりつつありますが、創業者である現会長の福原敏雄や当時の従業員は、お客様が「人生を生きる」と「人生を終える」ことを、同じひとつの会社の中で事業としたのですから、とても苦勞したことと思いますし、感謝に堪えません。今日の歴史と経験を積み上げてきたことで、当社グループは他には類を見られない特長を兼ね備えることができたのだらうと思います。

他に当社グループの特長があるとすれば、都市型の在宅介護サービス事業者として、**首都圏に絞って事業所を集中展開している**点が挙げられます。労働集約型の産業である介護サービスにおいて、お客様となる高齢者と、働くスタッフの労働力が商圏内にどの程度密集しているのかが、サービスの生産性と効率性を追求する上で非常に重要です。当社グループは、**将来的にも一定以上の人口が集中したエリアにおいて、お客様のご自宅を中心とした在宅介護サービスを重点的に提供することで、一人ひとりのお客様に安心で切れ目のないサービスを提供したいと考えております。**

Q4 2025年3月期の基本方針について教えてください

関連
▶9ページ

2025年3月期におきましては、10カ年計画の第2段階『大きく投資する』の1年目となり、これまでの土台を活かしながら、攻める1年となります。

事業所の開設につきましては、在宅介護サービス事業では、2024年3月期同様に訪問入浴サービスのほか、これからの時代に沿ったお客様のニーズや当社グループのスタッフの働き方、出店のしやすさ等を追求した**新しいタイプのデイサービスの出店を計画しております。**シニア向け総合サービス事業では、エンゼルケアでの西日本へのエリア拡大と、首都圏の既存エリアのさらなるシェア向上に向けて出店を予定しており、全事業で10事業所の出店を予定しております。

以上のことから、2025年3月期の連結業績は、売上高10,149百万円(前期比5.3%増)、営業利益640百万円(同23.5%増)、経常利益653百万円(同17.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益437百万円(同15.8%増)を予想しております。

また年間配当についても、当期配当実績を2円上回る1株当たり18円を予想しております。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

多角的なサービスで ご高齢のお客様とご家族を 支えるケアサービス

ケアサービスの事業の特長は、介護が必要なシニアや、
そのご家族に必要なサービスを切れ目なく提供できること。
ひとつの家族、ひとつの世帯で起こるさまざまな
ニーズに応え、今後も業容範囲を拡大してまいります。

長年の
ノウハウがあるから、
提案力と対応力で
お客様のご要望を実現！

事業構造 の強み

同じ地域で複数の
介護サービスを
提供しているから、
サービスの切り替えと
連携がスムーズ！

状況に合わせて
保険外サービスを利用
できるから、
介護者の負担が
軽減！

お客様

現在の
生活の
困りごと



在宅介護サービス

介護保険で利用できる
サービスを提供

の介護状態と環境によって変化するニーズ

ご家族

将来に対する
悩み

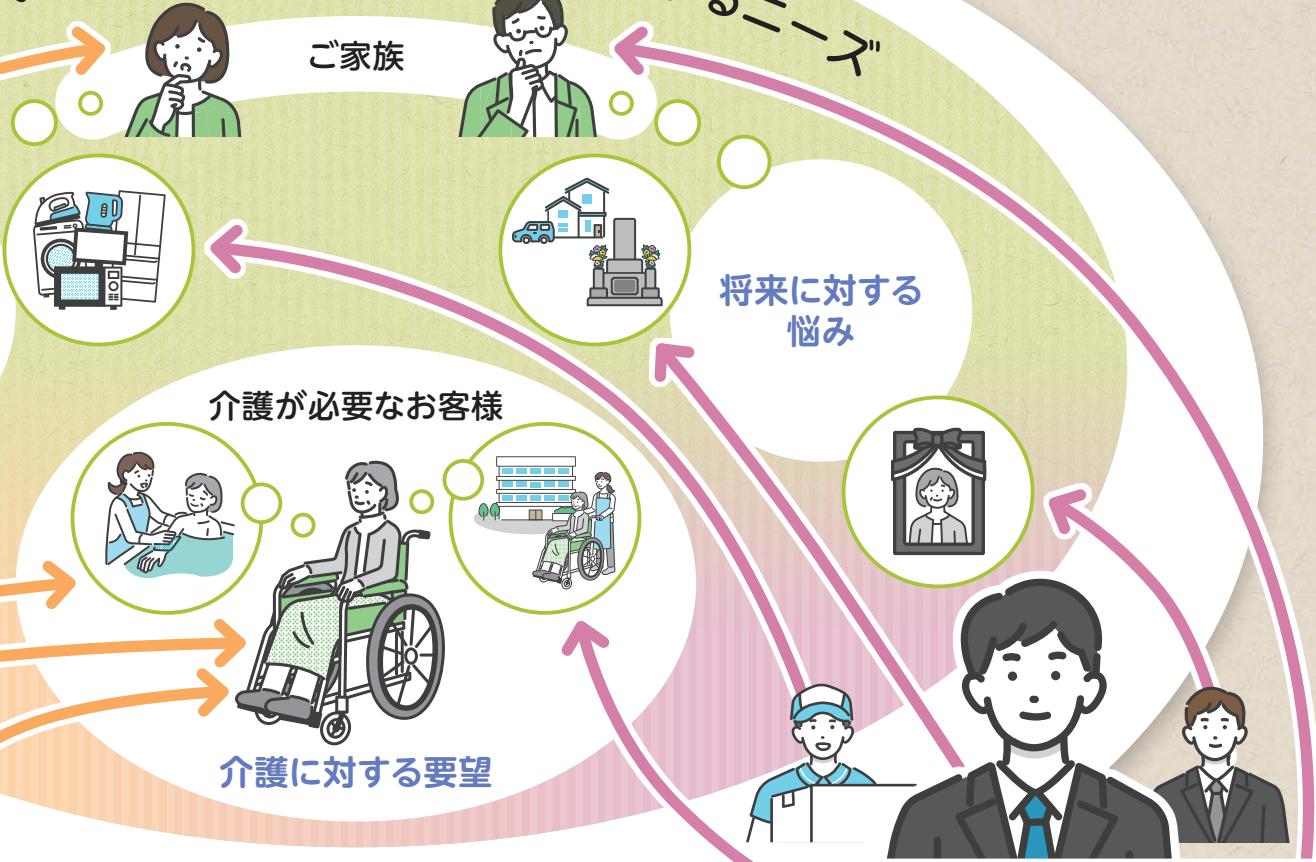
介護が必要なお客様

介護に対する要望

シニア向け総合サービス

介護保険では対応できない
サービスを提供

ケアサービスの多角的な支援



「多角的なサービスで

ご高齢のお客様とご家族を支えるケアサービス」の裏側

ケアサービスは、それぞれのサービスがお客様のご要望を実現するために連携しています。ここでは、2つのサービスの概要

居宅介護支援

デイサービス

訪問入浴
訪問介護
訪問看護

小規模多機能型
居宅介護

福祉用具
貸与・販売

訪問入浴サービス

一人じゃないから安心！持病があっても、
寝たきりでも **自宅でお風呂に入れる！**

サービス概要

- 移動式の浴槽を使って、お部屋で入浴ができるサービスです



特長

- 看護師による体調確認を行います
- ヘルパーを含め3名体制なので、多くの目で状態を確認しながら入浴できます
- 家族にとって身体的な負担が大きい入浴を専門職に任せられます

- 高齢者の増加に比例し、在宅介護関連のサービス需要は高まる見通しです

市場環境

- 当社では、訪問入浴の事業所数を増やしています

強み

- 創業期から40年以上継続しているサービスでノウハウが豊富です
- さまざまなお客様に対応できるよう長年蓄積してきた知識や技術により、安全に入浴できます

Staff's Episode



「もしかしたら今日が最後のお風呂になるかもしれない」という気持ちで私たちは訪問しています。「すごく気持ちがよかった」「お風呂に入れてもらえてうれしそうだった」と、お客様にもご家族にも笑顔でとても喜んでいただきました。

とその強みをご紹介します。

配食サービス

シニア向け
施設紹介

クリーンサービス

エンゼルケア

エンゼルケア

大切な人とのお別れ…

最期の時間を大切に過ごす 旅立ちの儀式

サービス
概要

- お亡くなりになった方とのお別れの儀式として、葬儀場やご自宅で執り行うサービスです



特長

- 故人様にメイクや着付けを行い、旅立ちの支度をします



- 故人様と対面し、天国に旅立つ最期の時間を一緒に過ごすことができます

- 核家族化が進み、大きなお葬式から親しい人だけで集うお葬式が増えています

市場環境

- 当社の拠点数を全国へ拡大しています

強み

- 30年以上継続しており、専門性と技術、品質に定評があります
- 高い技術や接遇を身に付けるための社内制度を整えています

Staff's
Episode



事故で家族を亡くされたお客様からのご依頼がありました。「悲しくて対面できない」と会場の隅でうつむいていたお客様でしたが、儀式が進み、美しく、きれいになっていく姿を見て、最後には「本当に目を閉じて眠っているみたい」と、近づいて頬に手を触れていただくことができました。

財務情報

業績ハイライト

(単位：百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年3月期	
				予想	前期比
売上高	8,965	9,237	9,637	10,149	5.3% ▲
営業利益 (利益率：%)	306 (3.4)	431 (4.7)	518 (5.4)	640 (6.3)	23.5% ▲
経常利益 (利益率：%)	327 (3.7)	475 (5.1)	556 (5.8)	653 (6.4)	17.4% ▲
親会社株主に帰属する 当期純利益(利益率：%)	192 (2.1)	323 (3.5)	377 (3.9)	437 (4.3)	15.8% ▲
配当金(円)	10.00	14.00	16.00	18.00	2.00円 ▲
配当性向(%)	19.7	16.4	16.1	—	—

※予想につきましては、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、そのため不確定要因や今後の事業展開における状況変化等により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

1株当たり情報

(単位：円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
1株当たり 純資産(BPS)	532.03	610.61	696.69
1株当たり 当期純利益(EPS)	50.66	85.36	99.56

投資収益性指標

(単位：%)

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
自己資本 利益率(ROE)	9.9	14.9	15.2
総資本利益率 (ROA)	5.9	9.6	10.3

2024年3月期 セグメント別の業績

在宅介護サービス事業 **72.0%**

シニア向け
総合サービス事業 **28.0%**

売上高

69億40百万円 対前期比 3.9%up ▲

セグメント利益

5億22百万円 対前期比 1.4%down ▼

売上高構成比

売上高

26億96百万円 対前期比 5.5%up ▲

セグメント利益

6億36百万円 対前期比 4.4%up ▲

POINT

- 東京都内で5事業所を新規開設
- セグメント全体で売上とサービス件数は新型コロナウイルス発生前の水準まで完全回復

POINT

- エンゼルケアサービスにおいて、西日本エリアに2事業所を新規開設
- 全国でもエンゼルケアサービスの需要は高い

会社概要

○ 会社概要 (2024年3月31日現在)

名称 株式会社ケアサービス
 代表者 福原 俊晴
 本社 〒143-0016
 東京都大田区大森北一丁目2番3号
 大森御幸ビル
 TEL : 03-5753-1170
 創業 1970年10月5日
 資本金 205,125,000円

○ 取締役および監査役の状況 (2024年6月25日現在)

代表取締役会長 福原 敏雄 常勤監査役 日誌 祐子
 代表取締役社長 福原 俊晴 社外監査役 福森 久美
 取締役副社長 木高 毅史 社外監査役 長沼 敏之
 社外取締役 藤好 優臣
 社外取締役 園部 洋士

○ 事業拠点 (2024年6月1日現在114拠点 ※子会社含む)

- | | |
|--------------|-----------------|
| □ 居宅介護支援 …14 | ● 福祉用具貸与・販売 … 3 |
| ○ デイサービス …45 | ▲ 配食センター … 1 |
| ■ 訪問入浴 …17 | △ クリーンサービス … 1 |
| ◎ 訪問介護 … 2 | ▲ エンゼルケア …27 |
| △ 訪問看護 … 2 | ★ 本社 |
| ■ 小規模多機能型… 1 | □ シニア向け施設紹介 |
| 居宅介護 | |

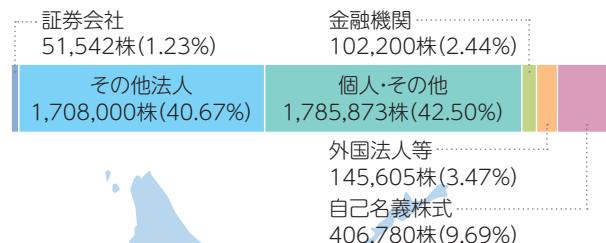
子会社 上海福原護理服務有限公司 (中国上海市)



○ 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 16,800,000株
 発行済株式の総数 4,200,000株 (自己株式406,780株を含む)
 株主数 3,371名

○ 所有者別株式分布 (2024年3月31日現在)



株主メモ

- 事業年度 4月1日から3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 毎年3月31日
そのほか臨時に必要な場合は、あらかじめ公告いたします。
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
- 電話照会先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
- 公告の方法 電子公告により行います。
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の当社ホームページアドレス
<https://www.care.co.jp/>



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

 **株式会社 ケアサービス**

本社 〒143-0016
東京都大田区大森北一丁目2番3号 大森御幸ビル
TEL : 03-5753-1170
<https://www.care.co.jp/>

ホームページのご案内

当社のホームページでも、サービス紹介や事業所案内、IR情報など詳しい情報を開示しております。是非ご覧ください。

ホームページはこちら

<https://www.care.co.jp/>



トップページ

IR情報はここから

当社のホームページでは、開示が可能となったIR情報を速やかに発表しております。

<https://www.care.co.jp/ir/> ケアサービス IR 

ケアサービスIRメールのご案内

メールアドレスをご登録いただくと、最新のIR関連情報のお知らせをメールで受け取れるサービスです。

ご登録はこちらから

<https://www.care.co.jp/mailnews/>

